

古川高等学校

校訓 質実剛健 学問尊重 自主自律



1 基本データ

創立：明治30年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：717名
所在地：〒989-6155
大崎市古川南町二丁目3番17号
TEL：0229-22-3034
FAX：0229-23-4621

ホームページアドレス：
<http://www.furuko.sakura.ne.jp>
電子メールアドレス：
chief@furuko.myswan.ne.jp
主な交通機関
JR東北新幹線・陸羽東線 古川駅下車 徒歩15分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

古高の歴史に新たな1ページを刻む

互いに個性を尊重し切磋琢磨する古高生
学習・部活動・学校行事に自主的に取り組む古高生
高い志をもち意欲的に取り組む古高生

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

明治30年に宮城県尋常中学校志田郡立分校として創立されて以来、第三中学、古川中学を経て古川高校となり、平成29年に創立120周年を迎えました。創立以来、大崎地方の教育・文化の中心として有為な人材を世に送り出し、名実共に「仙北の雄」と称せられる歴史と伝統を誇っています。

自由闊達な校風で、校章の由来となっている「蛭雪の功」の故事に倣って生徒は日夜、「質実剛健」「学問尊重」「自主自律」の校訓の下で文武両道に励んでいます。

校舎の全面耐震工事が完了し、図書館、研修室には冷暖房も完備され明るく快適な環境で学習できます。また、第二体育館、新体育館が新築され、創立100周年記念時には凌雲文化センターが、平成25年度にはスクールカラーを基調とした南校舎(普通教室棟)が新築されました。

学校敷地は、陸羽東線および東北新幹線古川駅から徒歩約15分の交通至便の市内中心部にあり、心とませる桜の古木や、歴史と伝統をしのばせるヒマラヤ杉、ケヤキ等の大樹に囲まれた閑静な勉学環境です。

(2) 設置学科等

(過去3年間の前後期選抜別の出願者数・合格者数)

<前期選抜>

		H30	H29	H28
普通科	出願者数	198	211	197
	合格者数	72	72	72

<後期選抜>

		H30	H29	H28
普通科	出願者数	197	192	196
	合格者数	168	168	168

(3) 教育方針

清潔にして健全な品性と学業を尊重する
気風とを養い、自主自律の精神を持って自

発的に行動できるような豊かな人間を育成するために、以下の3項目を教育目標に掲げています。1 健全な心身の育成 2 真理の探究 3 主体性の確立

(4) 教育課程の特色

授業は1時限45分7時限で行っています。

- 1学年は共通履修制を原則として、特に国語・数学・英語の3教科には十分な時間をかけて学習できるように配慮しています。
- 2学年では、選択した科目に応じて文系・理系クラスでの授業を展開します。1学年で学習した内容を更に発展応用させ、安定した学力の定着を図ります。
- 3学年では、多様な進路希望や、多彩な大学入学選抜方法等のもとで、一人一人にきめ細かく対応できるように、選択科目を開講しています。
- 4) 授業は、夏季冬季の長期休業を短縮して授業日数を増やし、基礎基本の理解から、重要事項の定着にまで丁寧に、系統的に進めています。1・2年全員を対象に「蛭雪講座」と呼ばれる講演会を年間6回程度開講しています。3年次においては、年間を通じて課外講習(0,8時限)を行い、学力伸長と実力の養成に努めています。

(5) 行事・生徒会活動・部活動

生徒の9割以上が大学進学を目標としながらも、学業面の成長に加えて、調和のとれた人間性の育成を目指しており、部活動や生徒会活動はたいへん活発です。また、企画や運営においても生徒の自主性や意見が尊重されており、一人一人が自分のやりたいことや個性を發揮できる自由で伸び伸びとした校風です。主な行事としては、対築館高校定期戦(4月)、船形山へのブナの森登山(5月)、古高祭(7月)、体育祭(8月)などがあります。

<平成29年度の主な成績>

運動部、文化部とも熱心に活動しており、各種大会で優秀な成績を収めています。部活動《2017年度の主な記録》
陸上/U-18日本陸上競技選手権大会女子400mH6位東北高校新人大会 女子400m3位 女子400mH1位
ソフトボール/県新人大会 優勝 東北新人大会 優勝
山岳/県総体 男子1位 東北大会及びインターハイ出場 女子3位(合同チーム)

県新人大会 男子6位入賞 女子2位(合同チーム)

ソフトテニス/県総体 男子団体ベスト4 男子個人 ベスト8 インターハイ出場 剣道/ 男子個人 第3位

吹奏楽/ 全日本吹奏楽コンクール 宮城県大会 銀賞

合唱/宮城県合唱アンサンブルコンテスト 金賞 NHK全国学校音楽コンクール宮城県コンクール 銀賞(第4位)

文芸/全国高等学校文芸コンクール 短歌部門 優良賞

総合化学/化学班 全国高等学校総合文化祭自然科学部門研究発表化学部門出場

囲碁・将棋/全国高等学校将棋選手権宮城県予選 女子個人4位 全国大会出場

弁論(有志)/全国高等学校総合文化祭弁論部門優秀賞(4位)

○第59回 対築館高校定期戦 古川高校：5勝6敗(通算40勝16敗3分)

(6) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	H29	H28	H27
国公立大学	63	67	87
国公立短大	1	3	2
私立大学	109	112	99
私立短大	3	3	2
専各学校	16	16	13
就職	8	6	5
その他	33	27	31
卒業生計	233	234	239

主な進路先(平成30年3月卒業生)

()内は人数 (1)は省略

<国公立大学>

北海道教育大、東北大(4)、岩手大(8)、宮城教育大(8)、山形大(6)、弘前大(4)、秋田大(3)、福島大(3)、茨城大、筑波、埼玉大(2)、千葉大、東京学芸大(2)、新潟大(2)、上越教育大、釧路公立大、青森県立保健大、岩手県立大(2)、宮城大(5)、秋田県立大(3)、高崎経済大、前橋工科大、富山県立大、長野大

<私立大学> (合格者数)

東北学院大(75)、東北工業大(13)、東北福祉大(17)、東北医科薬科大(4)、宮城学院女子大(22)、仙台白百合女子大(5)、尚綱大(7)、国際医療福祉大(6)、獨協大(2)、文教大(6)、神田外語大(5)、青山学院大(3)、北里大(3)、國學院大(2)、駒沢大(5)、専修大(2)、中央大(2)、東京農大(3)、東洋大(6)、日本大(3)、法政大(4)、明治大(2)、早稲田大、神奈川大(4)、同志社大 他

3 入試情報

(1) 募集定員

普通科 男女240名

(2) 前期選抜について

イ 学科別の募集割合等

普通科 定員の30%以内(72名以内)

ロ 出願できる条件

本校への入学を強く志望し、将来の夢の実現に向けて、本校入学後も意欲的に学習活動に取り組むとともに、生活面でも他の生徒の模範となることのできる者で、次の1の条件を満たし、かつ2～4のいずれかの1つ以上の条件に該当していることを自己アピールできる者

- 1 学業成績が特に優れている者
- 2 生徒会活動、委員会活動、学校行事等で、リーダーシップを発揮して活動した実績を持つ者
- 3 文化的・体育的活動等で、県レベル以上の大会において顕著な成績を残した者
- 4 社会活動・ボランティア活動において、優れた実績を収めた者

ハ 学力検査

・国語、数学、英語 各100点

ニ 学校独自検査

・作文(配点75点) 時間40分
自己理解、問題意識、思考力、表現力等を見ます。

(3) 後期選抜について

イ 学科別募集人数

普通科 168名(予定)

ロ 面接・実技の有無 なし

ハ 傾斜配点の有無 なし

ニ 調査書点と学力検査点の比重 3:7

ホ 学科の第2志望 該当なし

(4) 平成30年度転編入学試験について

日程	対象学年	試験科目等
平成30年4月10日	全学年	国・数・英・面接
平成30年12月10日	1・2年	国・数・英・面接
平成31年3月18日	新2・3年	国・数・英・面接

我が校のPRポイント

「古高の歴史に新たな1ページを刻む」のスローガンと、「高い志のもと、文武両道に努め、主体的に自己実現を目指す」というスクールアイデンティティー(SI)を掲げ、全体の約3割が国公立大学に合格。上昇気流の古高は、グレードアップしています!

古高は、①社会貢献できる人間の育成を目指す学校です。②勉強にも部活動にも全力で取り組み、人間的成長と現役での進路希望の達成を目指す学校です。③県内有数の進学校です。今春、東北大学4名をはじめ、岩手大学8名、宮城教育大学8名、山形大学6名、東京学芸大学2名、新潟大学2名など66名が現役で国公立大学に合格しました。また、昨春の卒業生を加えると国公立大学に79名が合格しています。

学習面では、①「自学自習」できる生徒の育成を目指します。②授業第一主義(毎日45分7コマで勝負!)です。③朝自習、週末課題、蛍雪講座、土曜講習、課外講習等で授業を深化させます。

3大行事として、①対築館高校定期戦(4月) ②古高祭(7月) ③体育祭(8月)があります。そのほか、1年生は、船形山登山(5月)、2年生は、修学旅行(12月)があります。

古高は夢を実現するために努力できる、志ある元気な中学生の皆さんの入学を待っています。

4 写真で見る学校生活

